

4月18日 支援学校4校（青陽須磨、友生、青陽灘、芦屋特別支援学校）へPR活動
として利用枠の説明など進路担当と面会

11/17～12/2 職員ヒアリング27名

3月28日 神戸市危機管理局清掃

「満足度・ニーズ調査2025」(令和7年2月実施)

回答率 全体75.5%(みくら生活介護90%、つついのみや55%、みくら就87%、住吉64%)

(調査内容と割合)

①事業所の活動内容について

(満足)71%(やや満足)24%(やや不満足)3%(不満)3%

②支援内容について

(満足)74%(やや満足)21%(やや不満足)0%(不満)0%

③その他のサービスについて

(満足)63%(やや満足)26%(やや不満足)0%(不満)3%

令和7(2025)年度

社会福祉法人 神戸育成会

事業報告

社会福祉法人 神戸育成会 2025（令和7）年度 事業報告（案）

【総括】

<理事長の交代>

古井理事長・理事の退任 10月に退任、11月に高畑新理事長就任

<借入金完済>

みなと銀行神戸駅前支店より平成18年1月12日100,000,000円借入

→令和7年12月1日に完済

みなと銀行神戸駅前支店より平成18年1月12日95,000,000円借入

→令和8年1月5日に完済

<最低賃金の改定と俸給表>

人件費の増額、人材の確保に苦慮

就労継続支援B型の住吉において、スタッフの欠員でシフトが組めない期間があり一時休業させていただく事態が起きました。対応としては業務委託者である社会福祉法人神戸老人ホーム様に状況説明とお願いをして令和7年1月より「日曜日に限り」休業させていただき、令和7年6月より日曜日限定勤務のスタッフを確保して対応し、10月より通常営業に戻しました。

<ペーパーレスへの取り組み>

事務において手書きの振替伝票をなくし、データへの直接入力としたため、ペーパーを削減すると共に、業務の効率化を図った。

<基本方針>

（事業所の経営）

健全な法人経営が持続的に行えるように「新規利用者の獲得・稼働率アップ」「職員が安心して働ける職場環境」「BCP策定による事業継続」を念頭に事業を運営しました。

（利用者の支援）

全ての利用者に対し個別支援計画に基づいたサービス及び意思決定支援と合理的配慮を意識した考える支援の提供のため、内外部研修や伝達講習などを行いました。

4月より新規利用者が2名入所。お二人共に神戸市立盲学校卒業で視覚障害の合併症をお持ちである。他の利用者との関係や安全性を重視して安心して利用し

家族会メモ風発行 5月21日、7月16日、8月20日、12月17日、
2月18日、3月18日（計6回）

⑩地域活動など

5月21日 長田区社協総会（長田区役所内）

6月18日 長田区社協自立支援協議会就労部会（長田区役所内）

7月30日 ほっとかへんネット事業所フェア（長田区役所内）

8月10日 長田区80周年記念プロジェクト（大正筋商店街）

8月20日 長田区社協自立支援協議会就労部会（長田区役所内）

9月16日 ほっとかへんネット長田 第2回課題検討チーム実務者会（長田区役所内）

10月8日 株式会社いくせい福祉就労社員採用面接

10月12日 新長田北地区ふれあいまつり（水笠通公園）

10月19日 三ツ星ベルト秋祭り（三ツ星ベルト）

11月19日 「みんなでにげよう！プロジェクト避難訓練」（神戸市立蓮池小学校）

12月17日 ほっとかへんネット長田 第3回課題検討チーム実務者会（長田区役所内）

1月28日 (株)いくせい「いくせい元気ホーム」地域連携推進会議（ボノールヴェール鈴蘭台）

2月17日 (株)いくせい「いくせい元気ホーム」地域連携推進会議（いくせい元気ホーム1番館）

3月15日 「こんにちはまつり」

3月17日 (株)いくせい「いくせい元気ホーム」地域連携推進会議（いくせい元気ホーム2番館）

3月18日 CH恵みの光細田地域連携推進会議

⑪協会活動など

5月13日 経営協総会（ザ・マーカススクエア神戸）

5月22日 市知連総会（あすてっぷKOBE）

5月28日 県知協総会（県福祉センター）

6月17日 兵庫県社会就労センター協議会通常総会（県福祉センター）

7月12日 神戸市手をつなぐ育成会（進路情報提供会）※資料のみ

8月29日 市知連施設長会（楠公会館）

2月4日 新春福祉関係者のつどい（神戸ポートピアホテル）

10月20日 市知連施設長研修（楠公会館）

⑫その他の活動

嘱託医健康相談 4月9日つついのみや、5月14日住吉Ⅰ、6月11日住吉Ⅱ・Ⅲ、
7月9日みくら生活介護、9月10日みくら就B、1月14日総括
5月22日「健康診断結果に基づく医師の意見聴取（令和6年度分）」小高内科医院
7月5日 害虫駆除（会館内全面）
7月17日 長田区保健センターより感染症訪問指導のため保健師2名
10月28日 健康診断（住吉①）予防医学協会健診センター
11月4日 健康診断（住吉②）予防医学協会健診センター
11月7日 健康診断（みくら・つついのみや）育成会会館
12月6日 育成会会館全館清掃
1月6日 「健康診断結果に基づく医師の意見聴取(令和7年度分)」小高内科医院

【感染症症陽性判明】

コロナ （利用者）6名（利用者家族など）2名
（スタッフ）5名（スタッフの家族）1名
インフルエンザ （スタッフ）1名 他なし

⑧理事会など

5月19日 監事監査
6月2日 令和7年度第1回決算理事会
6月9日 評議員選任・解任委員会
6月20日 令和7年度第1回定時評議員会
〃 令和7年度第2回新理事会
10月21日 令和7年度第3回理事会
11月6日 令和7年度第2回評議員会
〃 令和7年度第2回評議員選任・解任委員会
〃 令和7年度第4回（新）理事会
12月10日 令和7年度第5回理事会（書面決議）
3月4日 令和7年度第6回理事会
3月23日 令和7年度第3回評議員会

⑨家族会 4月16日、6月18日、9月17日、11月19日、1月21日（計5回）

てもらえるように支援を行いました。特にみくら就Bに入所した方は不安材料であった空間認識が弱いという課題がありましたが、階段の上り下り・トイレや更衣室への異動・作業室での資材運びなど独歩で単独行動ができることが増えていきました。残念ながら令和7年10月31日付で退所されましたが、視覚に障害のある方を支援することに触れ合理的配慮について、深める機会となりました。

（新規利用者の獲得）

実習や見学の積極的な受け入れを行います。支援学校などの営業活動・ホームページのトピックス更新によるPRを行いました。

（人財確保・育成）

まずは現在勤めているスタッフがやりがいを持って長く勤めることができる様に職場環境を整える。賃金だけではない業務での達成感や評価ができることの実践。少しでも賃金に反映される経営状況。高齢のスタッフでも安全に勤務できる職場環境を目指し週2～3日勤務のスタッフを多く配置しております。

人財育成の意識が高まるようにリーダーを中心に人財育成の意識を高め、リーダー以外のスタッフも後輩スタッフへのOJTができるように会議などで指導。

「強度行動障害養成研修」など支援スキルの向上に繋がる研修会等へ参加しました。

＜具体的な取り組み＞

法人全体で同じ目標に向かって足並みをそろえていけるように計画に掲げる事項については、目標を可能な限り数値化・可視化します。各事業所での目標にも法人で掲げる目標とリンクした目標に「★」マークを付け設定して取り組みました。

「意思決定支援」の取り組みとして、年2回の個別支援計画モニタリングでは、意思決定支援会議と位置づけ利用者同席のもとで開催し、ご本人の意思が汲み取れるように個々の状態に応じた方法を実施しました。

「改正差別解消法」「BCP・感染症委員会」などを踏まえた研修会や訓練を実施しました。

（組織体系の確立・拠点事業所の経営）

生活介護・共生型サービスをつついのみやとみくら生活介護で、就労継続支援B型を住吉Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとみくら就Bで行います。それぞれの事業にリーダーを設定し、リーダーシップの発揮による事業所でのサービスを提供しました。

【事業計画（工程）の評価】

※☐囲み項目、項目に対する（課題）（目標）（方法）を記載

※★は法人・事業所の共通課題

※事業所分は評価と評価の理由（コメント）のみ記載

※評価は「達成度 ×0～25%、△26～50%、○51～75%、◎76～100%」で表記

【事業計画 具体的な工程】

☐法人の健全な経営

（課題）①

（目標）補正予算を作成時に同時に書類を作成する。

（評価×）延べ利用者数等の按分を試みたが、もう少し処理を簡素化出来る様に、別の方法を取り入れていきたい。

（課題）②

（目標）改修工事が必要な場合の資金調達を行う

（評価×）大きな修繕はなく、関連団体に協力を依頼することなかった。借入金で完済することもあり、少額でも修繕積立ができることが今後の課題。

（課題）③★

（目標）魅力ある法人・事業所になるために、『うり』を作る

<みくら生活介護>

（評価○）外部より専門の講師を招きバラエティに富んだプログラムを行っている。創作活動の講師の指導で HUG 展に出品した。ご家族からも好評をいただいた。

<つついのみや>

（評価×）支援の実践（習字・音楽・工作）やその成果などをホームページで報告・紹介したがまだ『うり』が作れていない。

<みくら就 B>

（評価○）途絶えていた作業がまた行えるようになり、また違う新しい作業の準備を始めている段階

<住吉>（評価○）ホームページの更新は出来たが作業の質はまだ努力がいる。

4月1日入所式、8月8日夏祭り、日帰り旅行（6/22 住吉、10/17 みくら生活介護、10/21 つついのみや、11/21 みくら就 B）、12月19日クリスマス会

④研修実施報告

（職場内研修・訓練）

5月9日★障害者・高齢者虐待防止（身体拘束等の適正化）、6月13日★感染症・BCP（研修・訓練）（1）、9月12日伝達講習会、10月8日嘱託医による講習会、12月12日★感染症・BCP（研修・訓練）（2）

（外部研修）

8月20日 R7 年度医療・介護・保育における適切な有料職業紹介事業者の認定制度（オンライン）

8月26日 処遇改善セミナー（オンライン）

8月27日 令和7年度年金制度研修（オンライン）

11月20日 令和7年度第1回通所部会（ワークステーション細田）

12月1日 年末調整ウェビナー

2月12日 工賃向上研修（オンライン）

2月26日・27日 鶴瀬

2月26日 正延

3月16日 就労選択支援（オンライン）

⑤会議・委員会実施報告

- ・リーダー会議（対面・オンライン）毎月第1金曜日、各所支援員会議 毎月1回、
- ・苦情解決・虐待防止・身体拘束等適正化 5月27日、11月25日
- ・送迎サービス会議 6月11日、12月12日
- ・感染症 5月9日、6月6日、8月1日、12月5日

⑥避難・防災訓練、消防設備点検

- （1）「水防法に基づく洪水に関する避難訓練」4月30日 13:30
- （2） 避難訓練（消防設備点検） ①5月23日 13:30、②11月28日 13:30
- （3） 地震津波訓練 1月16日（金）13:30
- （4） つついのみやは6月25日防災訓練
住吉Ⅲ避難訓練を老人ホームと合同開催 10月16日

⑦健康・衛生など

【参考資料】■令和7年4月～令和8年3月【営業日数242日（住吉は360日）】

①令和7年度 利用者人数（共生型含む）※令和8年3月31日現在

種類	事業所名	男性	女性	合計	定員
生活介護	ワークみくら	7名	7名	14名	15名
	つついのみや	4名	4名	8名	10名
就労継続支援B型事業	ワークみくら	12名	4名	16名	20名
	同（住吉）	9名	5名	14名	15名
合計		32名	20名	52名	60名

②利用状況

（平均利用者人数）

事業	事業所名	定員	障がい	共生型	平均利用人数	
					令和7年度	令和6年度
生活介護	ワークみくら	15人	13人	1人	9.5人	7.2人
	つついのみや	10人	6人	2人	3.6人	5.0人
就労継続支援B型	ワークみくら	35人	16人	0人	15.1人	13.2人
	住吉		14人	0人	12.7人	12.8人
合計		60人	49人	3人	10.2人	9.6人

②-2（週の利用日数）

種類	事業所名	5日	4日	3日	2.5日	2日	1日	不登所
生活介護	ワークみくら	6名	2名	2名	1名	1名	2名	
	つついのみや	5名	1名					2名
就労継続支援B型事業	ワークみくら	13名	1名	1名		1名		
	同（住吉）	13名	1名					

②-3（平均工賃額）11,921円（前年度12,473円、前年度比▲552円）

③年間行事（実施報告）

（課題）④★

（目標）・新規利用者を獲得する・稼働率を上げる

<みくら生活介護>（評価○）支援学校からの見学等を受け入れ、利用に結び付いた。

<つついのみや>

（評価×）支援学校などの実習や見学を受け入れる準備はしていたが、電話での問い合わせが1件あったのみで利用には繋がらなかった。在宅の利用者への電話もできていない。

<みくら就B>（評価○）・新規利用者を獲得することは出来た。

<住吉>（評価△）見学者が一人おられたが獲得には繋がらなかった。

（課題）⑤★

（目標）コロナウィルス感染症やコロナ以外の感染症も含め、クラスターが

発生しないように引き続き対策を講じる

<みくら生活介護>（評価○）コロナ禍の感染予防対策は出来ていた。

<つついのみや>

（評価○）現在も引き続き感染症対策をしている。ご利用者の体調をよく観察し、ご家族などに丁寧に伝えて、自宅待機していただいている。支援員も早めに医者に診てもらうようになった。

<みくら就B>

（評価○）登所時や作業所に戻って来たら手洗いうがいの習慣が付き始めた。

毎日の机等のアルコール消毒・定期的な換気を行う事が出来た

<住吉>（評価◎）老人ホーム内での作業である為感染予防対策は徹底的に行えた。

意思決定支援

（課題）意思決定支援の理解と

（目標）意思決定支援を理解し支援に活かす 利用者・家族にも理解得る

（評価△）個別支援計画作成のためのモニタリング会議においては、本人参加で

概ね実施できている。外部研修への参加や内部研修実施に到達して

いないため、積極的に参加する。

合理的配慮

（課題）「改正障害者差別解消法」・合理的配慮の理解

(目標)「改正障害者差別解消法」・合理的配慮を理解し支援に活かす

(評価△) 研修会への参加ができていない。利用者支援においては、合理的配慮を意識した支援方法を指導している。研修は多くはないため、利用者支援のケースにおいてポイントとして行う。

・拠点事業所は事業所で行う

(評価○) 年間計画通りに実施できている。次年度はこれまで訓練できていない内容(非常階段や滑り台の使用など)を取り入れて実施する。

★個別支援計画

(課題)・個別面談に利用者ご本人が参加できていない

・個別支援計画書が期限に配布出来ていない

(目標)・個別面談にご本人も参加してもらう

・個別支援計画書を期限までに配布する

<みくら生活介護>

(評価○) アセスメントが取れた。コロナ禍も収まり、家族、本人との対面モニタリング会議は出来た。

<つついのみや> (評価△) 個別面談にご本人が参加できたのが8人中5人。

<みくら就 B>

(評価○) 個別面談にご本人も参加してもらえ、個別支援計画書を期限までに配布することが出来た。

<住吉>

(評価◎) シフトに組み込めたため利用者の参加が出来た。期限内に配布が出来た。

★サービスの向上

(課題) 個別課題のニーズへの対応

(目標) 個別課題のニーズがある利用者に対して、個別課題(メニュー)を提供する。

<みくら生活介護>

(評価○) 共生型サービスの利用者、及びすべての利用者が参加できる運動、食事前の嚥下体操等を行った。

<つついのみや>

(評価◎) 個別課題に対して個別支援メニューを提供させていただくとともに創作活動のニーズがあることに気づき、ボランティアをお願いし、月1回の活動で手法を凝らしてクリスマスツリーを制作した。

<みくら就 B> (評価○) スモールステップを探り個別支援計画を作成できた。

を実施した。廃棄書類があれば廃棄する予定である。

地域貢献 地域交流

（課題）地域貢献・交流が十分にできていない

（目標）活動としては十分ではないため、引き続き地域で求められる出来ることを模索していく

（評価○）通常の部会などへの参加以外にも、職員2名が社協主催のイベントにスタッフとして参加している。

★家族

（課題）家族とのコミュニケーション

（目標）対面でのコミュニケーションを増やしていく

<みくら生活介護>

（評価○）連絡帳や、電話等でのコミュニケーションはとれていた。

<つついのみや>

（評価○）ご家族との連絡を丁寧にとっている。こちらのミスやご家族の記憶違いに気付いたら早急に連絡をとる。

<みくら就 B>

（評価△）個別面談にご家族の参加は多数あったがイベントの参加は少なかった。

<住吉>

（評価○）対面での面談ができた。来られない方は電話での面談を行いコミュニケーションをとることが出来た。

健康管理

（課題）㈱いくせいと同日に実施

（目標）前年度同様、11月で実施（㈱いくせいに依頼）

（評価○）年間計画通り11月7日（つついのみや・みくら）、10月28日及び11月4日に住吉事業所に実施

避難訓練

（課題）避難訓練年2回、地震・津波訓練年1回、1000年に一度の防災（洪水）訓練年1回の実施

（目標）・合計年4回は実施する

<住吉>（評価○）意思決定支援をもとにアンケートを取り行事に取り組めた。

PR

（課題）支援学校など営業する際の強化

（目標）支援学校へPR訪問時にPR冊子を添付する

（評価○）4月に支援学校4校を訪問し進路担当と面会。PR冊子をお渡しして説明を行った。効果は不明であるが、引き続き実施していく。

★ホームページ・リーフレット

（課題）HP（ホームページ）のトピックス更新で閲覧数が増えない

（目標）各事業所で年2回のトピックス更新を行い、閲覧数が増える工夫する

<みくら生活介護>（評価○）日頃の様子を写真等で紹介する事が出来た。

<つついのみや>

（評価○）今回は利用者の作品を紹介し、日帰り旅行の写真を掲載した。

<みくら就 B>（評価○）HP トピックス更新を1回更新済み、後1回を現在企画中。

<住吉>（評価○）年1回の更新が出来た。

スキルアップ・専門性の向上①

（課題）強度行動障害への学び

（目標）リーダーが強度行動障害支援者養成研修（実践研修）などを受講する

（評価○）リーダー1名が受講でき、伝達講習も行った。引き続きリーダーの参加を推奨していく。

★スキルアップ・専門性の向上②

（課題）リーダー以外のスタッフに人財育成の意識が希薄

（目標）リーダー以外のスタッフにも人財育成を行う視点を持ち、意識向上を高める

<みくら生活介護>

（評価○）利用者一人一人の特性を理解できる様日常的に支援員同士が話し合っている

<つついのみや>

（評価◎）支援員全員がスキルアップするために真剣に取り組んでいる。利用者に寄り添って公正に接して、特性の理解に努めている。

<みくら就 B>（評価○）支援員という意識の認識、行動に移す事ができ始めている。

<住吉>（評価○）全体研修に参加することにより意識向上が出来た。

人材確保

（課題）人財確保が難しい

（目標）人財を確保する

（評価△）無料・有料媒体を駆使して一定程度は確保している。

★チームワーク

（課題）スタッフ間のコミュニケーションが取れているのか、と家族から不安の声がある

（目標）スタッフ間でもコミュニケーションが図れ、チームワークが取れている時間を持つ

<みくら生活介護>（評価○）スタッフ間の共通理解がほぼ出来ていた。

<つついのみや>（評価◎）支援員同士で支援方法について、意見交換できた。

<みくら就 B>（評価○）利用者の変化や問題についてすぐに話し合う事ができた。

<住吉>（評価○）電話・FAX で連絡を取り合うことが出来た。

★行事

（課題）コロナ禍を踏まえた、感染予防対策を講じての実施

（目標）コロナの状況により実施できないことを想定し、代替案を立てる

方法は事業所ごとで多少は異なるが、事業ごとでの方法で実践する。

<みくら生活介護>（評価○）コロナ禍が収まり、全体での行事は行えた。

<つついのみや>（評価○）クリスマス会の準備を早めに始めることができています。

<みくら就 B>

（評価◎）日帰り旅行は事業所ごとだが他の行事は全体で行う事が出来た。

<住吉>（評価◎）日帰り旅行は3事業所合同で行う事が出来とても喜ばれた。

権利擁護①

（課題）苦情解決・虐待防止委員会・身体拘束等適正化委員会と研修の開催

（目標）年2回（5月・11月の第4火曜日）身体拘束等適正化委員会は（年4回）開催し、研修会を年1回以上行う

（方法）年間計画を立て、委員会開催時に、次の開催日程を可能な限り決定する。

（評価○）次年度、苦情解決委員会・虐待防止委員会は、5月及び11月下旬開催。（予定）

権利擁護②

（課題）対面研修の実施

（目標）障がい者・高齢者虐待防止について、年1回以上は研修会を行う

（評価○）年間計画通りに開催できている。引き続き開催していくと共に、内容についてもより深めていけるように工夫していく。

★労働

（課題）休憩が充分にとれていない

（目標）事業所ごとに計画を立てる

<みくら生活介護>（評価△）利用者の状況により、十分に取れない時もあった。

<つついのみや>（評価△）利用者が降所後に15分くらい休憩できるようになった。

<みくら就 B>（評価○）休憩の取り方も人それぞれで納得のいく休憩は取れている。

<住吉>（評価△）昼対応職員の休職でとれない月があった。

収益事業

（課題）法人の経営状況が厳しい中、育成会会館の経年劣化による補修費が必要になってきている

（目標）経年劣化による改修工事が必要な個所の把握

（評価△）会館内の経年劣化による大きな補修はなかった。今後予測される補修が必要なこととして空調があるため、補助金や資金調達について備える。

嘱託医健康相談 健康管理

（課題）嘱託医の更なる活用

（目標）対面で健康相談・勉強会を実施する

（評価○）年間計画通りに実施できている。次年度も同等の内容で実施する。

書類

（課題）年度末に判断する（廃棄等の書類の量）

（目標）廃棄基準の設定

（評価△）13 社会福祉法人神戸育成会文書取扱規則に基づき書類の年度更新等の棚卸